

No4290185

事務事業票

所管部長等名
所管課・係名
課長名

市民環境部長 潮崎 勝
環境センター管理課 管理係
田中 孝

評価対象年度平成29年度(2017)

1 (Plan) 事務事業の計画									
事務事業名	樹木、剪定屑リサイクル事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	4	—	2	—	5
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	5	人と自然が調和するまち	事業コード(大-中-小)	5	—	33	—	02
	施策の大綱(節)【政策】	3	環境にやさしいまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標	4	“やつしろ”の発展を支えるま ちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	3	循環型社会の推進		施策大項目	2	暮らしの拠点づくり		
	具体的な施策と内容	1	ごみの減量化及び資源化の推進		施策小項目	1	「生活基盤」の整備		
事務事業の概要 (全体事業の内容)	市内の家庭、事業所の剪定作業で出た剪定屑を利用者が直接八代ソイルへ搬入し、堆肥化を行うことによって、ごみ再資源化と廃棄物 処理施設の負担軽減を図る。								
実施手法 (該当欄を選択)	○ 全部直営								

2 (Do) 事務事業の実施										
評価対象年度の事業内容等										
対 象 (誰・何を)		八代市内の家庭及び事業所から出る樹木、剪定屑								
事業内容(手段、方法等)				成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
搬入基準 ○直径10cm以下、長さ1.5m程度に剪定した樹木を対象とする。なお、毒性等が有り堆肥として利用できない樹木は不可。 ○市民、事業者等が直接搬入することが条件。 ○搬入料金は10kg当り50円で、清掃センターに焼却物として持ち込む料金の半額とすることで、施設の活用を促している。 委託業者 八代ソイル 平成29年度実績 処理量 461t				樹木、剪定屑については、「八代市ごみ処理基本計画」に基づき、この施設を活用し可燃物の減量化及び再資源化することを目的としている。今後は、当該事業のさらなる周知に努め、循環型社会の構築を図る。						
コスト推移				27年度決算	28年度決算	29年度決算 見込	30年度予算	2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込
事業費(直接経費)										

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	樹木、剪定屑リサイクル処理量	t	計画	-	350	350	350	350	350
				実績	346	296	312	291	333	461
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
〈記述欄〉※数値化できない場合										
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	資源化量 焼却施設への負担軽減と再資源化率向上を図るため指標と設定した。（当年実績／平成24年度実績×100）	%	計画	-	101	101	101	101	101
				実績	100	85	90	84	96	133
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
〈記述欄〉※数値化できない場合										

3（Check）事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か（国・県・民間と競合していないか）	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	リサイクルの推進や市民サービスの向上につながる仕組みとして、実施する妥当性が高いため。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか（成果をこれ以上伸ばすことはできないか）	● 有効である 概ね有効である 有効でない	焼却施設への負担軽減とリサイクルを図るために、樹木、剪定屑の堆肥化事業を行っており、成果目標の達成状況は概ね順調であるが、成果を向上させるために市民の方々への広報等の周知を行い利用促進にあたる。
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか（引上げ・引下げ・新たな負担・廃止）	● 現行どおりでよい 見直しが必要	既に民間事業者已全部委託して実施して、現状で問題なく処理が実施されているため、見直しの余地はない。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 市民へ当該事業のさらなる周知・利用促進を図り、樹木剪定くずのリサイクル率を高める。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		(委員からの意見等) 特になし	

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	現有焼却能力を維持する。	t / 日	計画	-	85	85	85	85	85	
				実績	76	85	85	85	87	87	
	②			計画	-						
				実績							
	③			計画	-						
				実績							
	〈記述欄〉※数値化できない場合										
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名		指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	外部処理委託量	外部委託焼却ごみ量の節減を行う。	t/年	計画	-	1500以内	1500以内	1500以内	1500以内	1500以内
					実績	6540	1596	1630	1585	1910	888
	②				計画	-					
					実績						
	③				計画	-					
					実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合										

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	一般廃棄物の処分は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律による地方自治体の責務において行うものであるため、市が事業主体となって行う事業である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	成果目標である外部委託焼却ごみ量の節減は、概ね達成することができたが、地震の影響で一時的に増加したものである。
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	部分的に民間委託を行っているが、施設が老朽化しているため、コスト削減は困難である。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 清掃センターから環境センターへのスムーズな業務移行を行い、適正な一般廃棄物の処理処分を実施する。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)	

No4290187

事務事業票

所管部長等名
所管課・係名
課長名

市民環境部長 潮崎 勝
環境センター管理課 管理係
田中 孝

評価対象年度
平成29年度
(2017)

1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名	ごみ処理施設整備事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	4	—	2	—	5
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	5	人と自然が調和するまち	事業コード(大-中-小)	5	—	33	—	04
	施策の大綱(節)【政策】	3	環境にやさしいまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標	4	“やつしろ”の発展を支えるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	3	循環型社会の推進		施策大項目	2	暮らしの拠点づくり		
	具体的な施策と内容	2	廃棄物処理施設等の整備		施策小項目	1	「生活基盤」の整備		
事務事業の概要 (全体事業の内容)	清掃センターは供用開始から43年が経過しており、設備機器類も老朽化が著しいが、市民生活(ごみの処理)に支障がないよう定期的な整備・修繕を行い、環境センターの完成まで適正な維持管理を行い能力の低下を防ぐ。								
実施手法 (該当欄を選択)	☒ 全部直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ その他()								
補助金事業該当	☐ 補助金(主な補助先:)※予算の全てが補助金支出である場合に記入。								
根拠法令、要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、八代市清掃センター管理規程(訓令第45号)								
事業期間	開始年度	終了年度			法令による実施義務 (該当欄を選択)	☒ 1 義務である ☐ 2 義務ではない			
	合併前	未定							

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対 象 (誰・何を)	清掃センター内施設設備							
事業内容(手段、方法等)				成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)				
(事業内容) 焼却炉分解整備修繕 30,240千円 1号炉煙道修繕 3,726千円 ごみ供給クレーン分解整備修繕 1,486千円 舗装打換 1,264千円 クレーン電気室修繕 1,242千円 クレーン走行車軸修繕 1,242千円 1号炉バグフィルター天板等修繕 1,240千円 半円状フレコン立て等改修 1,220千円 振動振るい機修繕 1,203千円 2号バグ煙道等修繕 1,156千円 ごみ供給クレーンエンコーダ配線改修 1,080千円 [外41件] (事業費計) 60,663千円				ごみ処理施設設備及び資源化設備について定期的に整備・修繕を行うことにより、処理能力の維持・保全を図るとともに、市民生活(ごみ処理)に支障がないよう努める。				
コスト推移		27年度決算	28年度決算	29年度決算 見込	30年度予算	2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込
事業費(直接経費) (単位:千円)		93,604	93,985	60,663	77,269	80,000	80,000	80,000
財 源 内 訳	国県支出金							
	地方債							
	その他特定財源(特別会計→繰入金)							
	一般財源(特別会計→事業収入)	93,604	93,985	60,663	77,269	80,000	80,000	80,000

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	現有焼却能力を維持する。	t / 日	計画	-	85	85	85	85	85
				実績	76	85	85	85	87	87
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
〈記述欄〉※数値化できない場合										
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	運転日数 年間の焼却炉運転日数を目標	日/年	計画	-	320以上	320以上	320以上	320以上	320以上
				実績	286	313	322	317	314	330
	②			計画	-					
				実績						
	③			計画	-					
				実績						
〈記述欄〉※数値化できない場合										

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	一般廃棄物の処分は廃棄物の処理及び清掃に関する法律による地方自治体の責務において行うものであるため、市が事業主体となて行う事業である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	成果目標である年間の焼却炉運転日数は、地震の影響があったものの概ね達成することができた。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	センター運営との連携や維持修繕の優先度の判断が必要ことから民間委託等は困難であり、施設が老朽化しているため、コスト削減は困難である。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 清掃センターの確実な閉鎖業務を行い、施設の適正な維持管理に努める。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)	

No	4290190
----	---------

事務事業票

所管部長等名	市民環境部長 潮崎 勝
所管課・係名	環境センター管理課 管理係
課長名	田中 孝

評価対象年度	平成29年度	(2017)
--------	--------	--------

1 (Plan) 事務事業の計画

事務事業名		生活環境事務組合負担金事業(じん芥)		会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	4	—	2	—	5
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	5	人と自然が調和するまち	事業コード(大-中-小)	5	—	33	—	16
	施策の大綱(節)【政策】	3	環境にやさしいまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標	4	“やつしろ”の発展を支えるま ちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	3	循環型社会の推進		施策大項目	2	暮らしの拠点づくり		
	具体的な施策と内容	2	廃棄物処理施設等の整備		施策小項目	1	「生活基盤」の整備		
事務事業の概要 (全体事業の内容)		八代生活環境事務組合のクリーンセンターは、東陽町、泉町、千丁町、鏡町と氷川町から発生する一般廃棄物を処理し、関係市町村が負担金を支出し、管理運営している。 【共通経費割30%、国勢調査人口割20%、収集量割50%】							
実施手法 (該当欄を選択)		☐ 全部直営							

2 (Do) 事務事業の実施

評価対象年度の事業内容等

対 象 (誰・何を)	東陽町、泉町、千丁町、鏡町の一般廃棄物									
事業内容(手段、方法等)				成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)						
東陽町、泉町、千丁町、鏡町の一般廃棄物の処分に係る八代生活環境事務組合の維持管理及び塵芥処理に伴う負担金。 平成29年度処理実績 ・可燃物:4,315t ・資源物: 595t				一般廃棄物の処理を衛生的に行うことにより、生活環境の維持を図る。						
コスト推移				27年度決算	28年度決算	29年度決算 見込	30年度予算	2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込
事業費(直接経費) (単位:千円)				295,750	209,901	138,986	123,112	76,000	76,000	76,000
財 源 内 訳	国県支出金									
	地方債									
	その他特定財源(特別会計→繰入金)									
	一般財源(特別会計→事業収入)			295,750	209,901	138,986	123,112	76,000	76,000	76,000

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名			単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	一般廃棄物の適正処理		%	計画	-		100	100	100	100
					実績			100	100	100	100
	②				計画	-					
					実績						
	③				計画	-					
					実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合										
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名		指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	①	一般廃棄物の処分量	東陽町、泉町、千丁町、鏡町の一般廃棄物の処分	%	計画	-		100	100	100	100
					実績			100	100	100	100
	②				計画	-					
					実績						
	③				計画	-					
					実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合										

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	一般廃棄物の処分は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律による地方自治体の責務において行うものであるため、市が事業主体となって行う事業である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	成果目標である一般廃棄物の適正処分については、概ね達成することができた、市町村合併時の取り決めで、生活環境事務組合が運営しているため、見直しの余地はない。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	● 現行どおりでよい 見直しが必要	負担金については、市町村合併時の取り決めで行なっている。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) ● 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 平成30年7月から北部ブロック(千丁町、鏡町、東陽町、泉町)の一般廃棄物の搬出先が、八代生活環境事務組合クリーンセンターから環境センターへ替わったため、新たな負担金割合を定めた。	
外部評価の実施		無	実施年度
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)	

事業の活動量・実績の数値化	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	八代市一般廃棄物処理実施計画に従って排出された一般廃棄物の収集率		計画	-	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	100	100	100	
	②			計画	-						
				実績							
	③			計画	-						
				実績							
〈記述欄〉※数値化できない場合											
もたらそうとする効果・成果の数値化	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	八代市一般廃棄物処理実施計画に従って排出された一般廃棄物の収集率	本市域内の一般廃棄物を収集することは本市の責務であり、市民の公衆衛生の確保につながる。	%	計画	-	100	100	100	100	100
					実績	100	100	100	100	100	100
	②				計画	-					
					実績						
	③				計画	-					
					実績						
〈記述欄〉※数値化できない場合											

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	市町村は、その区域内における一般廃棄物を、生活環境の保全上支障が生じないうちに廃棄物処理法に従って適正処理を行う責務を有しており、市民の生活環境の保全上、極めて重要な事業である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	集積所に排出された一般廃棄物を、八代市一般廃棄物処理実施計画に従って収集運搬・適正処理を実施している。
◆実施方法は現行どおりでよい ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	現行どおりでよい ● 見直しが必要	収集業務は既に民間事業者已全部委託して実施しているが、市所有の収集車両を委託業者に払い下げることにより車両管理業務の民間委託を図る必要がある。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 ● 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 収集業務は既に民間事業者已全部委託して実施しているが、市所有の収集車両を委託業者に払い下げることにより車両管理業務の民間委託を図る必要がある。	
外部評価の実施		実施年度	
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		(委員からの意見等) 特になし	

1 (Plan) 事務事業の計画									
事務事業名	分別収集事業			会計区分	01 一般会計				
				款項目コード(款-項-目)	4	—	2	—	5
施策の体系 (八代市総合計画に おける位置づけ)	基本目標(章)	5	人と自然が調和するまち	事業コード(大-中-小)	5	—	33	—	13
	施策の大綱(節)【政策】	3	環境にやさしいまちづくり	総合戦略での 位置づけ	基本目標	4	“やつしろ”の発展を支えるま ちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	3	循環型社会の推進		施策大項目	2	暮らしの拠点づくり		
	具体的な施策と内容	3	廃棄物の適正処理の推進		施策小項目	1	「生活基盤」の整備		
事務事業の概要 (全体事業の内容)	家庭から排出される一般廃棄物のうち、分別して集積所に排出された資源ごみを収集運搬する。								
実施手法 (該当欄を選択)	☐ 全部直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ その他(								

2 (Do) 事務事業の実施										
評価対象年度の事業内容等										
対 象 (誰・何を)		本市の一般家庭から集積所に排出された資源ごみ								
事業内容(手段、方法等)					成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)					
ステーション方式の収集体制により、家庭から排出された資源ごみを収集運搬する。					一般廃棄物の最終処分量の削減及び循環型社会の形成を図る。					
集積所(ステーション)数 本庁管内 390箇所 坂本支所管内 76箇所 千丁支所管内 22箇所 鏡支所管内 46箇所(一部路線収集) 東陽支所管内 34箇所 泉支所管内 46箇所 合 計 614箇所										
コスト推移				27年度決算	28年度決算	29年度決算 見込	30年度予算	2019年度 見込	2020年度 見込	2021年度 見込
事業費(直接経費) (単位:千円)				152,058	151,163	164,358	183,691	193,691	183,691	193,691
財 源 内 訳	国県支出金									
	地方債							7,500		7,500
	その他特定財源(特別会計→繰入金)			17,708	12,031	642	4,397	4,397	4,397	4,397
	一般財源(特別会計→事業収入)			134,350	139,132	163,716	179,294	181,794	179,294	181,794

事業の活動量・実績の数値化 活動指標	指標名		単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	八代市分別収集計画に従って排出された一般廃棄物の収集率		計画	-	100	100	100	100	100	
				実績	100	100	100	100	100	100	
	②			計画	-						
				実績							
	③			計画	-						
				実績							
	〈記述欄〉※数値化できない場合										
もたらそうとする効果・成果の数値化 成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	①	八代市分別収集計画に従って排出された一般廃棄物の収集率	一般廃棄物の最終処分量の削減につながる。		計画	-	100	100	100	100	100
					実績	100	100	100	100	100	100
	②				計画	-					
					実績						
	③				計画	-					
					実績						
	〈記述欄〉※数値化できない場合										

3 (Check) 事務事業の自己評価		
着眼点	チェック	判断理由
◆事業実施の妥当性を備えているか ・事業の目的が上位政策・施策に結びつくか ・市民ニーズや社会状況の変化により、事業の役割が薄れていないか ・市が事業主体であることが妥当か(国・県・民間と競合していないか)	● 妥当である 概ね妥当である 妥当でない	市町村は、その区域内における一般廃棄物を、生活環境の保全上支障が生じないうちに廃棄物処理法に従って適正処理を行う責務を有しており、市民の生活環境の保全上、極めて重要な事業である。
◆活動内容は有効なものとなっているか ・成果目標の達成状況は順調に推移しているか ・成果を向上させるため、事業内容を見直す余地がないか(成果をこれ以上伸ばすことはできないか)	● 有効である 概ね有効である 有効でない	集積所に排出された資源ごみを、八代市分別収集計画に従って収集運搬・適正処理を実施している。
◆実施方法は現行どおりでよいか ・民間委託、指定管理者制度の導入などにより、成果を下げずにコストを削減することは可能か ・目的や形態が類似、関連する事業との統合・連携によりコストの削減は可能か ・現状の成果を下げずに非常勤職員等による対応その他の方法により、人件費を削減することは可能か ・事務事業の目的や成果から考えて、受益者負担を見直す必要があるか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃止)	現行どおりでよい ● 見直しが必要	収集業務は既に民間事業者已全部委託して実施しているが、市所有の収集車両を委託業者に払い下げることにより車両管理業務の民間委託を図る必要がある。

4 (Action) 事務事業の方向性と改革改善			
今後の方向性 (該当欄を選択)		1 不要(廃止) 2 民間実施 ● 3 市による実施(民間委託の拡大・市民等との協働等) 4 市による実施(要改善) 5 市による実施(現行どおり) 6 市による実施(規模拡充)	
今後の方向性の理由、改革改善の取組等		(今後の方向性の理由、改革改善の取組ともたらそうとする効果など) 収集業務は既に民間事業者已全部委託して実施しているが、市所有の収集車両を委託業者に払い下げることにより車両管理業務の民間委託を図る必要がある。	
外部評価の実施		実施年度	
改善進捗状況等	H29進捗状況		
	H29取組内容		
決算審査に伴う常任委員会における意見等		特になし (委員からの意見等)	